

団体名(正式名称)

公益財団法人オイスカ 名取事務所



代表者名	理事長 中野悦子
担当者名	海岸林再生プロジェクト担当部長 吉田俊通 * 東京本部業務と兼務
住所	名取市下増田字北原東478
電話番号	070-5550-7394(吉田携帯)
FAX番号	022-395-7817
HPアドレス	<a href="https://oisca.org/kaiganrin/">https://oisca.org/kaiganrin/</a>
代表メールアドレス	kaiganrin@oisca.org
交通アクセス	仙台空港アクセス線「美田園」駅にて送迎します(徒歩の場合、事務所まで30分)
職員数	86名
団体の活動理念	<p>「当機構は、それぞれの生命は密接に繋がっており、それらの源は宇宙であることを認識し、すべての人々が、国籍、民族、言語、宗教、文化の違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り、育てようとする世界を理想とする。」— オイスカ・インターナショナル憲章第4条(理念)より</p> <p>「オイスカの理念体系」 <a href="https://oisca.org/wp-content/uploads/2022/01/rinentaikei.pdf">https://oisca.org/wp-content/uploads/2022/01/rinentaikei.pdf</a></p>
団体の活動内容	<p>オイスカはアジア太平洋を中心とした開発途上国を活動対象地としてプロジェクトを推進しています。オイスカが目指すのは、地球上に生きる人間や他の生命がバランスを保ちながら共生する持続可能な世界です。これらすべての生命の「ふるさと」を守り育てるための実践がオイスカの活動です。海外の経験ノウハウを活かして、2011年から東日本大震災「海岸林再生プロジェクト」を実施・継続しています。</p> <p><a href="https://oisca.org/projects/">https://oisca.org/projects/</a></p>
活動中の感染防止策	野外活動が中心ですが、事務所では消毒・換気など基本的なことは行っています。また、ボランティア受け入れ人数を大幅に削減しております。

公益財団法人オイスカ 名取事務所

プログラム名	海岸林再生プロジェクト第2次10ヵ年計画(2021-2030)			
インターン生の 活動内容(概要)	現場は仙台空港東の名取市海岸全域です。2022年度は約800人の8時間従事ボランティアが、海岸防災林100ha(全長5km×幅200m)のクロマツ37万本の保育活動(6月～9月末:葛の刈り取り、外来種雑木除去、排水溝づくり、11月:生長モニタリング調査、12月～間伐、通年:ゴミ拾い)を行いました。歴代インターンの皆さんには、その受け入れ現場実務の補助やオンラインイベントの企画運営をしてもらい、その報告をHPブログに書いていただいています。			
	活動のテレワーク比率	<input checked="" type="checkbox"/> ～20%	<input type="checkbox"/> 21～49%	<input type="checkbox"/> 50～79% <input type="checkbox"/> 80%～
インターン生の 活動内容(詳細)	【オフィス・フィールドでの対面活動の内容】 まず最初の3ヵ月は、現場現場に慣れることを第一にします。ボランティア受入れ実務補助と言っても、一般ボランティアやスタッフと協力して一緒に作業するに過ぎません。秋以降は、取り組んでみたいテーマを私たちと一緒に考えます。その結果、オイスカ本部でのインターン生と一緒に、主に高校生・大学生向けにボランティア参加体験を発信するオンラインイベント企画を行ったこともあります。			
	【テレワークでの活動内容】 オイスカ名取事務所のインターンの特徴は、フィールドワークがほぼすべてです。テレワークとしては、フィールドでの体験を、その都度HPブログやSNSで発信・情報公開することが基本です。また、インターン期間後半でテーマ設定次第では、必要に応じてテレワークしていただくこともあるかもしれません。			
インターン活動で 得られるもの	オイスカ名取事務所インターンのもう一つの特徴は、非常に多くの人と作業を共にすることです。同年代の人もありますが、全国からの幅広い年代、様々な業種のボランティアが来訪します。企業・労組単位で平日に来ることもあります。その方たちとのコミュニケーションが醍醐味と言えそうです。			
インターン生への 希望・期待	2016年以降、4名の学生さん(男性1名、女性3名)がインターンとして活躍してくれました。いずれも森林林業以外のことを専攻していました。本格的にボランティアをするのも初めてだったと思います。震災復興に関わってみたい、ボランティアをしてみたい。社会勉強したい。多くの人と話してみたい・・・そういう気持ちがあれば。炎天下の作業もあります。小雨混じりでも作業することもあります。フィールドワークの経験がなくても、やる気さえあれば誰でもできる作業です。一人でも多くの若い世代の方に海岸林の現場に加わってほしいと考えながら、2011年からこの仕事を続けています。これまでの4人は全員存在感を発揮していました。			
活動期間	6月～1月(応相談)			
活動時間	金・土曜日が多い。9時～17時(応相談)			